



# 機能アクセスコード

- [機能アクセスコードについて \(1 ページ\)](#)
- [機能アクセスコードの構成 \(4 ページ\)](#)
- [機能アクセスコードの確認 \(6 ページ\)](#)
- [機能アクセスコードの設定例 \(7 ページ\)](#)
- [機能アクセスコードの機能情報 \(8 ページ\)](#)

## 機能アクセスコードについて

### 機能アクセスコード

機能アクセスコード (FAC) とは、電話機のキーパッドからダイヤルするための特別なパターンの文字であり、特定の機能呼び出します。たとえば、\*\*1 を押した後に、2345 を押すと、すべての着信通話を内線番号 2345 に転送できます。

アナログ電話のキーパッドをダイヤルするための短い一連の数字を使用して FAC を呼び出します。同様に、IP Phone では、ソフトキーを選択して同じ機能呼び出すことができます。Cisco Unified Communications Manager Express 4.0 以降では、アナログ電話で使用できるものと同じ FAC を IP Phone で有効にします。これにより、特定の機能を選択で着たり、電話機の種類を問わず、同じ方法で機能をアクティブ/非アクティブにできます。

明示的に有効になるまで IP Phone で FAC を無効にします。Cisco Unified Communications Manager Express に登録されているすべての SCCP 電話機に対して、すべての標準 FAC を有効にすることができます。同様に、カスタム FAC またはエイリアスを定義して、1 つ以上の個別の FAC を有効にすることができます。

通話パーク FAC 以外のすべての FAC は、電話機がオフフックになった直後すぐに有効になります。通話パーク FAC は、通話パークスロットへの転送とみなされるので、Transfer ソフトキー (IP Phone) または hookflash (アナログ電話) を使用して転送を開始した後に有効化されます。



- (注) Cisco Unified Communications Manager Express ルータで構成されたディレクトリ番号は、FAC 構成の FAC Standard または FAC Custom に割り当てた番号と重複できません。また、FAC コードは常にアスタリスクで始まり、その後に数字が続くようにしてください。



- (注) Custom FAC 構成の場合、2つの FAC コードが互いに重複することはできません。避ける必要のあるサンプル構成（54 のオーバーラップ）は次のとおりです。

```
telephony-service fac custom
dnd *54
ephone-hunt hlog-phone *5432
```

表 1: 表示機能アクセスコード (2 ページ) に、事前定義された標準 FAC のリストを示します。

表 1: 表示機能アクセスコード

標準 FAC	説明
**1 と任意の内線番号	不在転送。
**2	すべてのコールの転送をキャンセルします。
**3	ローカルグループを選択します。
**4 とグループ番号	指定したピックアップグループの着信通話を選択します。指定されたピックアップグループは、Cisco Unified Communications Manager Express ですでに構成されている必要があります。
**5 と内線番号	直接の内線番号を選択します。
**6 と任意のパークスロット番号	この FAC にダイヤルする前に、通話進行中に Transfer ソフトキー (IP Phone) または hookflash ソフトキー (アナログ電話) を押すと、通話パークになります。Cisco Unified Communications Manager Express で対象のパークスロットを構成します。
**7	サイレント。
**8	リダイヤル。
**9	音声メール番号にダイヤルします。
*3 とハントグループパイロット番号	ephone ハントグループに参加します。動的メンバーシップを行える複数のハントグループがすでに作成されている場合、参加するハントグループはそのパイロット番号で識別されます。

標準 FAC	説明
※4	ハントエージェントグループがオフフックの場合、ハントグループログアウト機能をアクティブ/非アクティブ化し、内線の受信可/受信不可状態を切り替えます。
*5	電話機レベルのハントグループログアウトをアクティブ/非アクティブ化し、各電話機ですべての内線の受信可/受信不可状態を切り替えます。電話機がアイドル状態の場合、個々の電話機メンバーはephoneハントグループに属している必要があります。
*6	音声メール番号にダイヤルします。
#3	ephoneハントグループから脱退します。電話機または内線番号を、ハントグループの動的番号として構成します。



(注) SIP 電話機で FAC 機能を機能させるには、**telephony-service** の **call-park system application** を構成する必要があります。SIP 電話機では、次の FAC がサポートされています。

- **CALL\_PICKUP** - 電話機ユーザーが、FAC 数字 \*\*5 を押してから内線番号をダイヤルすることにより、別の電話機で鳴っている通話に応答できるようにします。
- **GROUP\_PICKUP** - 電話機ユーザーが FAC 数字 \*\*3 を押してからピックアップグループ番号をダイヤルすることにより、呼び出し中の電話に応答できます。
- **LOCAL\_GPICKUP** - 両方の電話機が同じピックアップグループの場合、電話機ユーザーが FAC 数字 \*\*4 を押してから、アスタリスク (\*) を押すことで、別の電話機を呼び出している通話を選択できます。
- **DPARK\_RETRIEVE** - 電話機ユーザーは、FAC 数字 \*0 を押して、通話パークスロットの内線番号をダイヤルすることにより、SCCP 電話機でパークされた通話を取得できます。
- **REGULAR\_PARK** - 電話機ユーザーが、特別な内線番号で FAC 数字 \*\*6 を押すと、通話を保留にすることができます。これは、システム内の別の電話機から取得できます。
- **VOICE\_HUNTGRP\_JOIN** - 音声ハントグループページで表示される Join FAC 数字 \*3 を選択することで、電話機ユーザーは、音声ハントグループに参加したり、音声ハントグループから参加することができます。
- **VOICE\_HUNTGRP\_UNJOIN\_ALL** - 音声ハントグループページに表示される unJoin FAC 数字 #4 を選択すると、電話機ユーザーは、すべての音声ハントグループから退出します。
- **VOICE\_HUNTGRP\_UNJOIN\_PARTICULAR** - 音声ハントグループページに表示される unJoin FAC 数字 #4 を選択すると、電話機ユーザーは、特定の音声ハントグループから退出します。
- **VOICE\_HUNTGRP\_TEMP\_LOGOUT** - 電話機ユーザーが HLog FAC 数字 \*5 を使用して、応答可能状態から応答不可状態または応答不可状態から応答可能状態に変更できるようにします。
- **SIP\_NIGHT\_SERVICE\_CODE** - 夜間サービスコードを入力して、夜間サービス対応のオン・オフを夜間サービスが割り当てられている任意の電話機から切り替えられるようにします。

## 機能アクセスコードの構成

標準 FAC を有効にするか、カスタム FAC を作成するには、次の手順を実行します。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **call-park system application**
5. **fac {standard | custom {alias alias-tag custom-fac to existing-fac [extra-digits]} | feature custom-fac }**
6. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>telephony-service</b> 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<b>call-park system application</b> 例： Router(config-telephony)# call-park system application	SIP 電話機で FAC 機能が動作するよう <b>call-park system application</b> を構成します。
ステップ 5	<b>fac {standard   custom {alias alias-tag custom-fac to existing-fac [extra-digits]}   feature custom-fac }</b> 例： Router(config-telephony)# fac custom callfwd *#5	標準 FAC を有効にするか、カスタム FAC またはエイリアスを作成します。  • <b>standard</b> — すべての電話機に対して標準 FAC を有効化します。  • <b>custom</b> — FAC タイプのカスタム FAC を作成します。  • <b>alias</b> — 既存 FAC または既存 FAC と追加番号に対してカスタム FAC を作成します。  • <b>alias-tag</b> — このエイリアスの一意の識別番号。範囲：0～9。  • <b>custom-fac</b> — IP Phone またはアナログ電話のキーパッドを使用してダイヤルする、ユーザ定義のコード。カスタム FAC は最大で 256 文字の長さ

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>にすることができ、0～9の数字と、*および#を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>to</b>— カスタム FAC を指定したターゲットにマップします。</li> <li>• <b>existing-fac</b>— 電話機ユーザーが構成したカスタム FAC にダイヤルした際に、自動的にダイヤルされるすでに構成済みのカスタム FAC。</li> <li>• <b>extra-digits</b>— (オプション) 電話機ユーザーが構成したカスタム FAC にダイヤルした際に、自動的にダイヤルされる追加の番号。</li> <li>• <b>feature</b>— 特定の機能を識別するための事前定義された英数字。? と入力するとリストが表示されます。</li> </ul>
ステップ 6	<p><b>end</b></p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-telephony)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

## 機能アクセスコードの確認

FAC コンフィギュレーションを確認するには、次の手順を実行します。

### show telephony-service fac

例 :

このコマンドにより、Cisco Unified CME ルータに設定されている FAC のリストが表示されます。次に、標準 FAC が有効になっている場合の出力の例を示します。

```
Router# show telephony-service fac
```

```
telephony-service fac standard
callfwd all **1
callfwd cancel **2
pickup local **3
pickup group **4
pickup direct **5
park **6
dnd **7
redial **8
voicemail **9
ephone-hunt join *3
ephone-hunt cancel #3
ephone-hunt hlog *4
```

```
ephone-hunt hlog-phone *5
trnsfvm *6
```

次に、カスタム FAC が設定されている場合の出力の例を示します。

```
Router# show telephony-service fac

telephony-service fac custom
callfwd all #45
alias 0 #1 to **4121
alias 1 #2 to **4122
alias 4 #4 to **4124
```

## 機能アクセスコードの設定例

### すべての電話機の標準 FAC の有効化例

次に、すべての電話機に対して標準 FAC を有効にする例を示します。

```
Router# telephony-service
Router(config-telephony)# fac standard
fac standard is set!
Router(config-telephony)#
```

次に、すべてのコールの転送機能の標準 FAC がカスタム FAC (#45) にどのように変更されるかを示す例を示します。その後、エイリアスが作成されて、2 番目のカスタム FAC が #45 と内線 (1111) にマップされます。カスタム FAC (#44) によって、電話機ユーザーは #44 を押すことで、すべての通話を内線番号 1111 に転送できます。電話機ユーザーは、内線番号をさらにダイヤルする必要はありません。

```
Router# telephony-service
Router(config-telephony)# fac custom callfwd all #45
fac callfwd all code has been configured to #45
Router(config-telephony)# fac custom alias 0 #44 to #451111
fac alias0 code has been configured to #44!
alias0 map code has been configured to #451111!
```

次に、グループ 123 のグループピックアップのエイリアスを定義する方法を示します。このエイリアスは標準 FAC の番号 #4 をグループピックアップ (\*\*4) に置き換え、グループ番号 (123) をダイヤルパターンに追加します。このカスタム FAC を使用して、電話機ユーザーは標準 FAC の \*\*4 とグループ番号 123 をダイヤルする代わりに、#4 をダイヤルしてグループ 123 の呼び出し中のコールをピックアップできます。

```
Router# telephony-service
Router(config-telephony)# fac custom alias 5 #4 to **4123
```

## 機能アクセスコードの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェアリリーストレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェアリリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 2: 機能アクセスコードの機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
ボイスメールへの転送。	7.0/4.3	ボイスメールに転送するための FAC が追加されました。
機能アクセスコード (FAC)	4.0	FAC が導入されました。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。